



Techno Smart

Changing Life with Coating Technology

テクノスマート (6246)

2025年3月期
通期決算説明資料



売上高は2024年10月発表の修正予想にわずかに届かないものの、過去最高額を達成
原価低減施策を継続し高利益率を維持できたため、営業利益、経常利益及び純利益も過去最高を更新

	24年3月期	25年3月期	26年3月期	
(百万円)	実績	実績	計画比*1	業績予想*2
受注高	24,288	14,013		
前年比	+10.3%	△42.3%		
売上高	19,242	21,578	△122	20,000
前年比/計画比	△2.2%	+12.1%	△0.6%	
営業利益	2,588	3,512	+412	3,000
営業利益率	13.5%	16.3%	+2.0pt	
前年比/計画比	+15.9%	+35.7%	+13.3%	
経常利益	2,630	3,555	+455	3,000
前年比/計画比	+15.5%	+35.2%	+14.7%	
純利益	1,804	2,390	+290	2,000
前年比/計画比	+12.3%	+32.5%	+13.8%	
受注残高	31,849	24,284		
前年比	+18.8%	△23.8%		
ROE	9.4%	12.2%		
1株あたり配当金	79円	86円		88円

2025年3月期概況

- ✓ 売上高は中期経営計画を達成。営業利益、経常利益、純利益は中期経営計画に加えて2024年10月の修正予想を超える実績となり、**ROEは12.2%**に上昇
- ✓ 大型案件の獲得はなかったものの、ディスプレイ部品関連を中心に**140億円**を受注し、受注残高は**242億円**と高水準を維持
- ✓ 設計仕様や案件に応じた製造工程の効率化による原価低減施策により、**利益率が大きく改善**

2026年3月期見通し

- ✓ ディ스플레이部品関連と機能性フィルム関連は、波はあるものの、引き続き**堅調に推移**と予想
- ✓ エネルギーに関しては、需要回復まで相応の期間を要すると予測するが、**全固体電池**や**ペロブスカイト太陽電池**は数年で試作品から商業化に移行すると考えており、受注活動に注力する

*1 2024年10月25日発表の修正予想に対する計画比

*2 2025年5月14日発表の2026年3月期業績予想



1

会社概要及び中計概要

2

2025年3月期実績

3

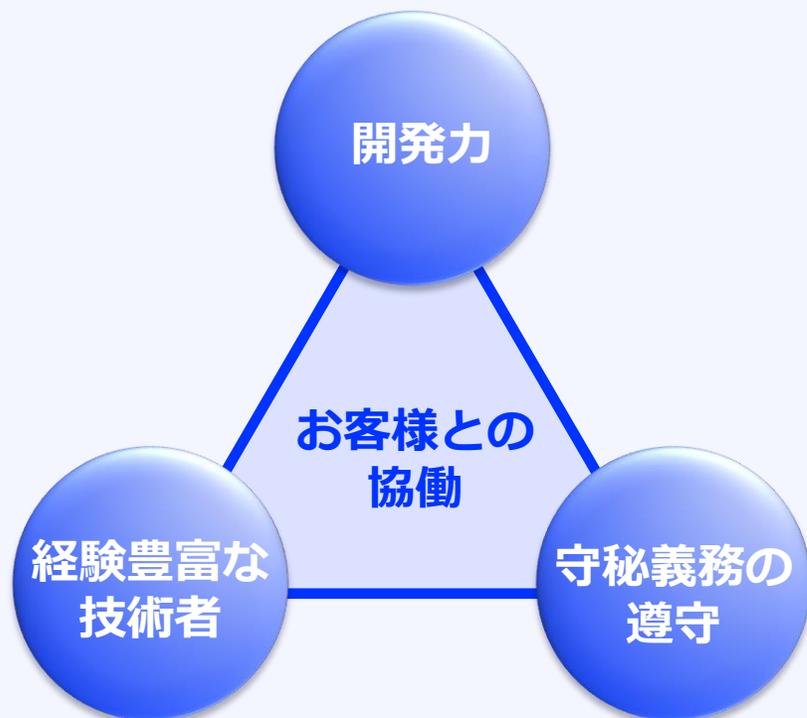
2026年3月期見通し

4

Appendix

常にお客様を第一とし
ベストソリューションを提供し続ける
コーティング・乾燥技術のプロ集団

「こんな商品を！」の声に応える新商品開発サポート



豊富な経験と先端の知識を備え
お客様のコミュニケーションを
基点に動く技術者集団

万全なお客様機密情報の保護

会社名	株式会社テクノスマート (Techno Smart Corp.)
事業内容	製造業向け塗工・乾燥装置の製造・販売
創業	1912年6月15日
資本金	19億5,393万円
所在地	〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町2丁目5-28 久太郎町恒和ビル2階
従業員数	245名 (2025年3月末時点)
生産拠点	【滋賀事業所】滋賀県野洲市大篠原3200番地

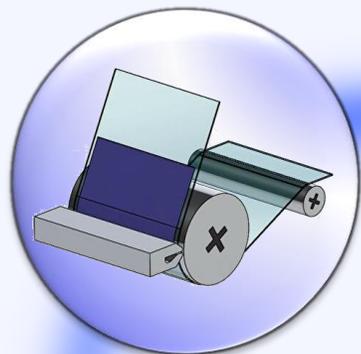
▼滋賀事業所



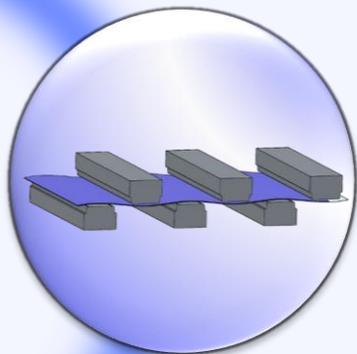
モノ作りにおける「塗る」「乾かす」「巻き出す・巻き取る」に対するベストソリューションの提供

塗工プロセスに必要な要素全てを自社製品でカバー

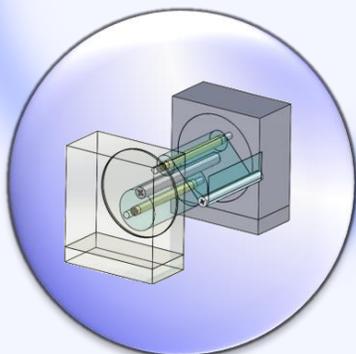
顧客のニーズに合わせた最適な生産ラインを提案・構築



塗る



乾かす

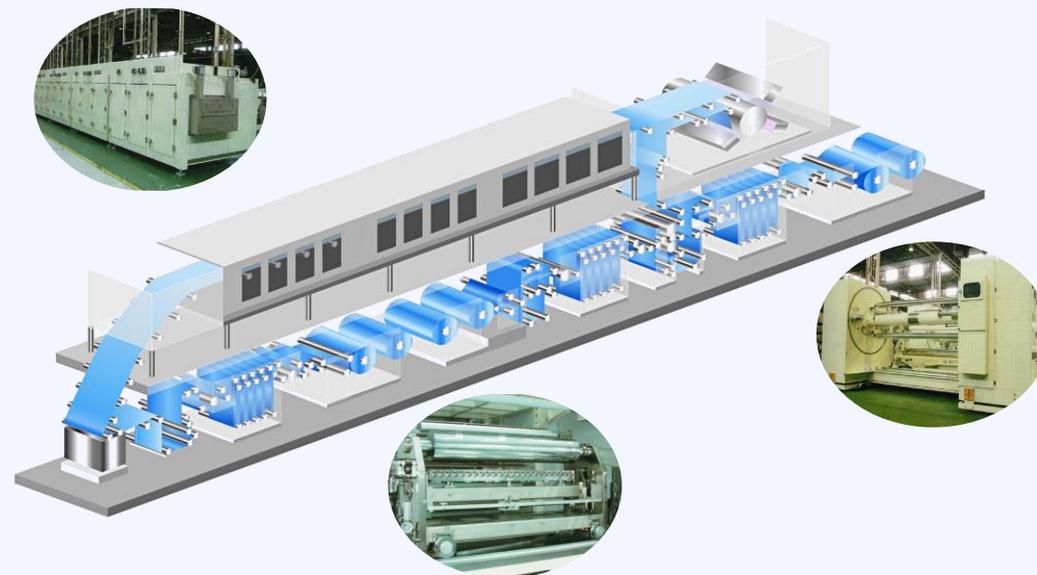


巻き出す・巻き取る

使用する材料

ラインの
生産性

コーティング
の精度

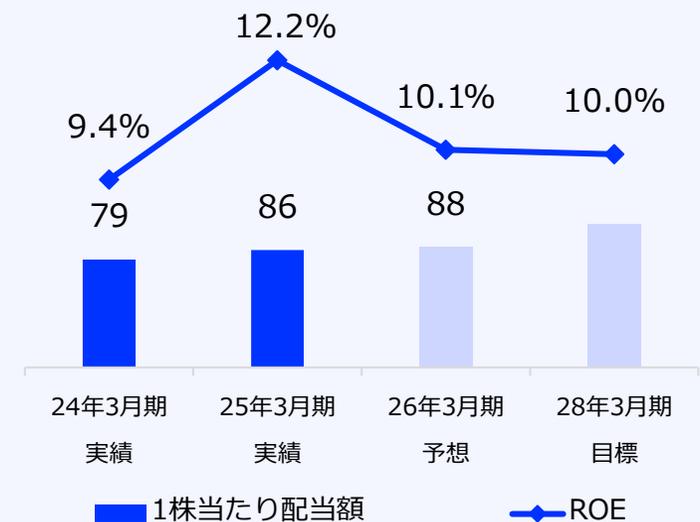
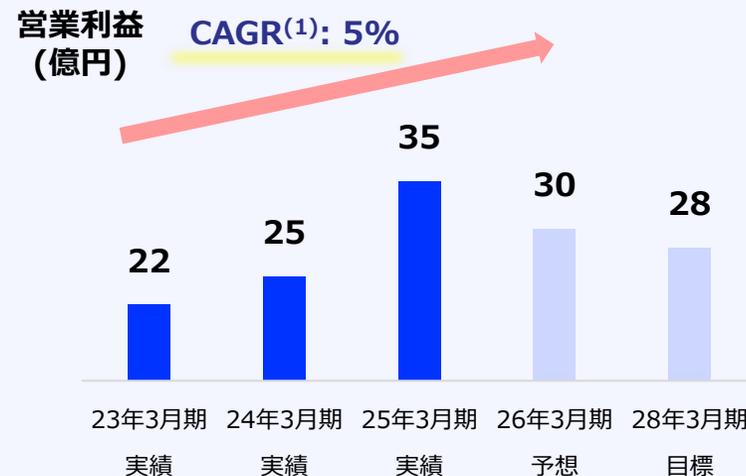
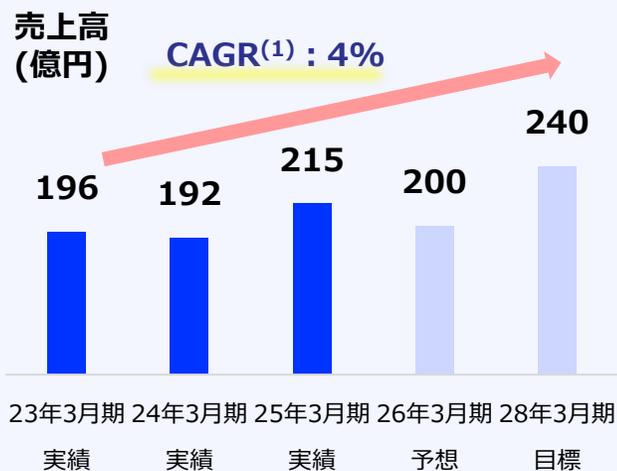


塗工プロセスで要求される様々な要素を
最大限に満たす生産ラインを設計・構築

中期経営計画(～2026年3月期) 2期目の進捗 (定量目標)

2期目

	25年3月期 計画 (期初予想)	25年3月期 予想 (期中修正値)	25年3月期 実績	進 捗 (期初予想・期中修正値に対する進捗)	26年3月期 計画	28年3月期 目標
売上高	210.0億円	217.0億円	215.7億円	○: 期初予想に対し102.7%、期中修正値に対し99.4%で着地	220億円	240億円
営業利益	25.0億円	31.0億円	35.1億円	○: 期初予想に対し140.4%、期中修正値に対し113.2%で着地	26億円	28億円
ROE	8.5%以上		12.2%	○: 目標値を達成	9%以上	10%以上
DOE	5%以上		5.2%	○: 目標値を達成	5%以上	
配当額	82円	86円	86円	○: 普通配当82円+特別配当4円	75円から105円程度	



(1) Compound Annual Growth Rate (年平均成長率)。23年3月期実績及び28年3月期目標に基づく

目標	主要施策	2025年3月期実績
① 車載用二次電池市場向けを中心に、エネルギー領域での成長を加速	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Dürr社(独)との提携を通じた欧州展開強化 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Dürr社(独)を通じて欧州企業より受注獲得
② 納期の長期化の解消と技術力強化を通じた競争力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 設計者の採用強化 ✓ 生産・研究開発投資の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 全社で7名増加(新卒・中途採用、退職者含む) ✓ 25年3月から新実験棟(テクニカル・シナジーセンター)の稼働開始
③ コロナ禍で停滞した海外戦略の強化	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 海外訪問強化 ✓ 営業人材の採用強化 ✓ アフターサービス拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 海外訪問はコロナ前を超える件数に到達 ✓ インド市場に対しても営業活動を展開 ✓ 営業部で2名採用
④ 資本効率の向上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 財務戦略の見直しによるROEの改善 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 原価低減の結果、ROEは大幅上昇し12.2%

新実験棟 (テクニカル・シナジーセンター)

実験までお待ちいただく日数が短縮されます。新実験機は、高クリーンクラス環境を実現し、様々な塗工条件に応じたテストが可能です。



外観



新実験機

当社の特性を踏まえ、株主還元の主要指標としてDOE（自己資本配当率）を採用し安定的な配当の実現を目指す。今中計期間ではDOE 5%以上を目標にし、将来的な増配を通じた株主還元に取り組む。

従来

- 配当性向 30%以上
DOE 1%以上を目安
- 配当額が利益変動に伴い変動



DOE 5%水準の安定配当

1株当たり配当額 (円)



2023年3月期 期末配当以降

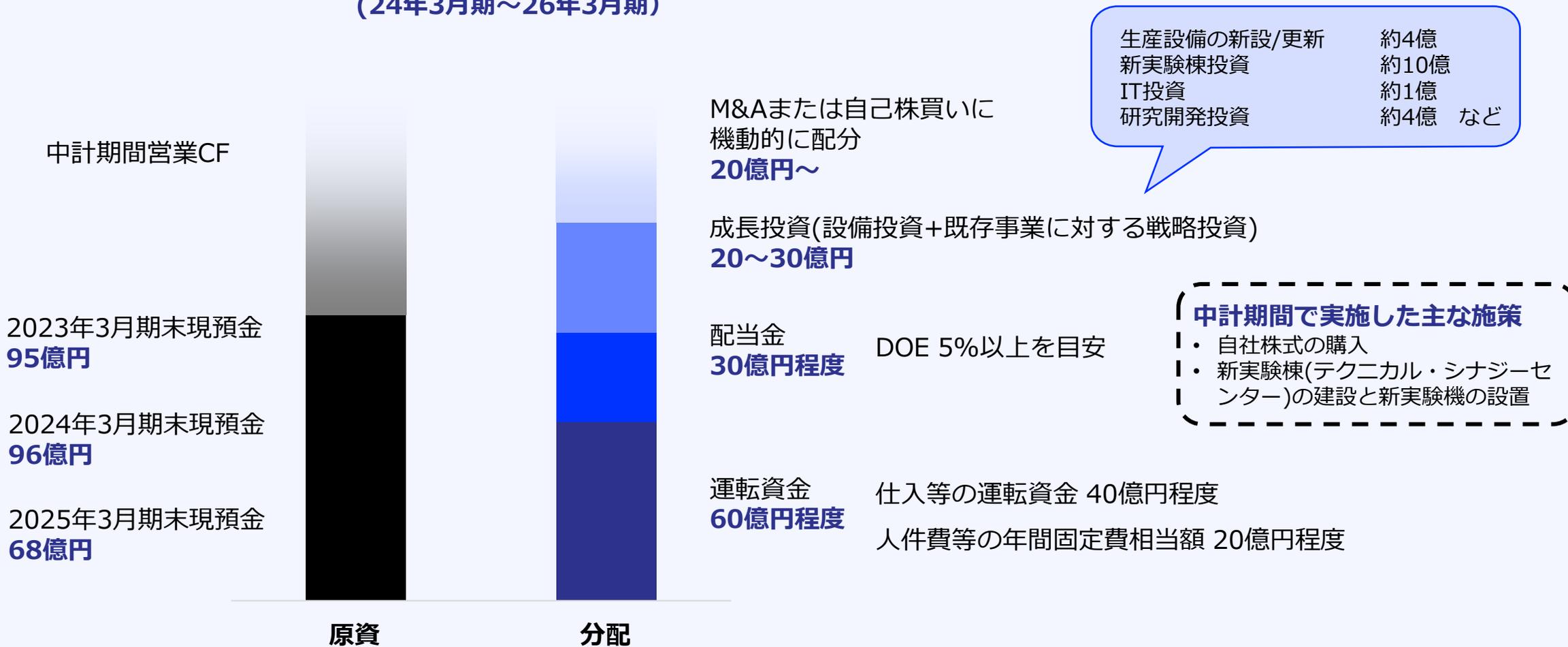
- DOE 5%以上を目安
- 自己資本の積み上げに伴い増配
= 黒字継続で増配基調
- 機動的な自己株買いも



事業運営に必要な現預金の水準を、固定費と運転資金の変動見通しから策定。また、策定した水準を踏まえて、余剰現預金と、中計における営業CF見通しから、中計期間のキャピタル・アロケーションを策定。

キャピタル・アロケーション方針

(24年3月期～26年3月期)



1

会社概要及び中計概要

2

2025年3月期実績

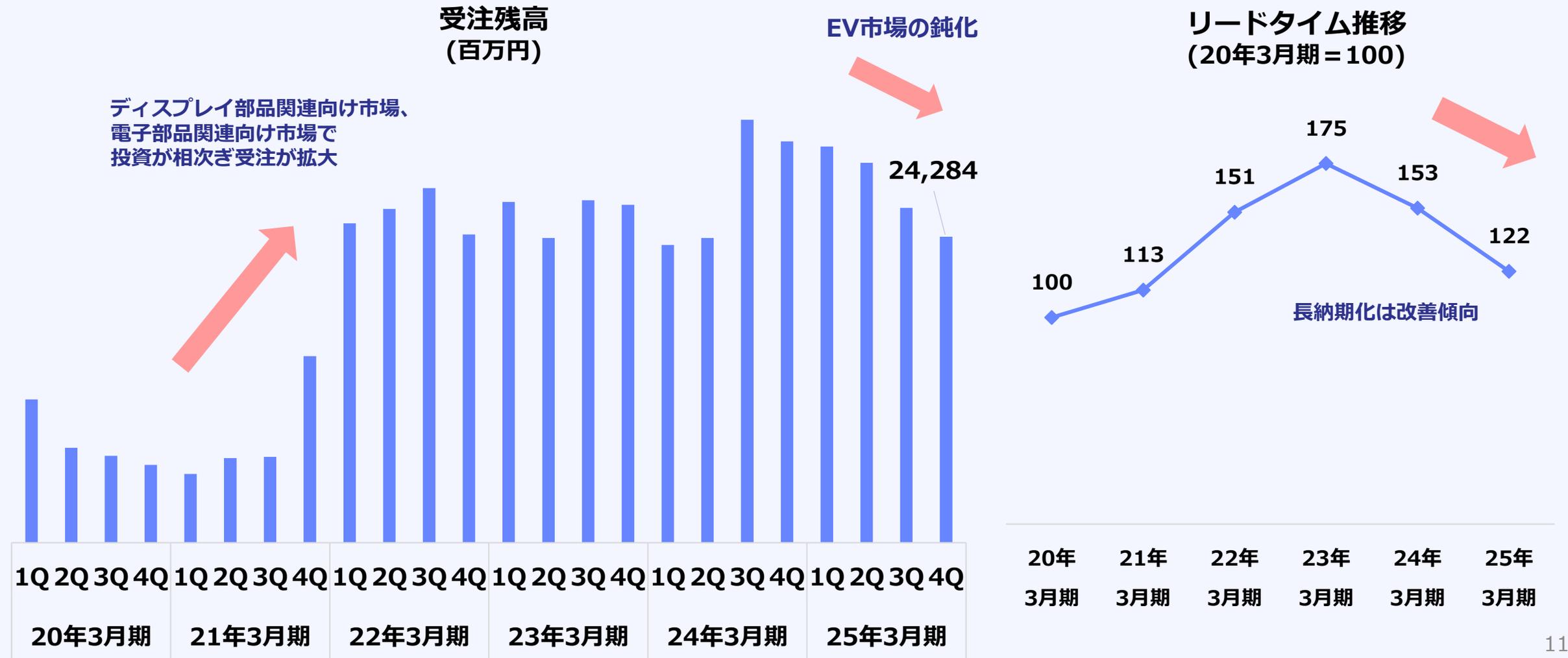
3

2026年3月期見通し

4

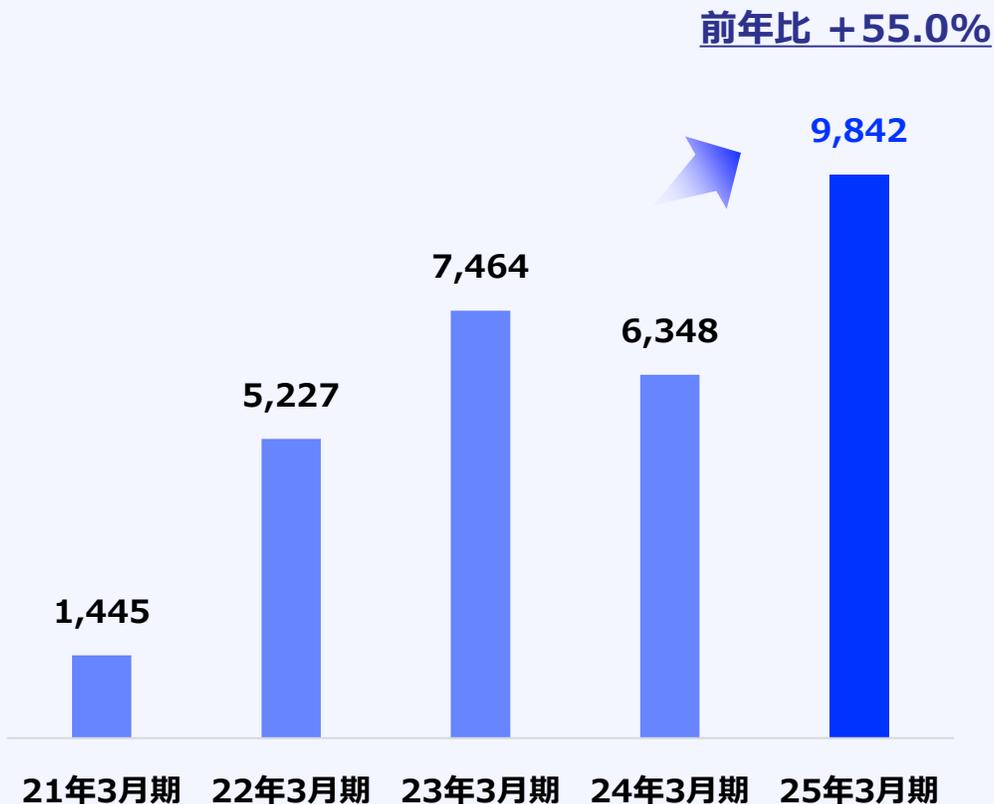
Appendix

ディスプレイ部品関連、機能性フィルムが堅調に推移も、エネルギーはEV市場の鈍化のために受注残高は減少傾向。新実験機の稼働開始と機械設備の更新などでキャパシティ不足の解消を進める。



ディスプレイ部品関連向け市場においては技術力に強みを発揮し、顧客の大型投資に連動して好調に推移。足元でも受注に向けた案件の動向が見えており、需要は続く見通し。

ディスプレイ部品関連機器売上高
(百万円)



2025年3月期概況

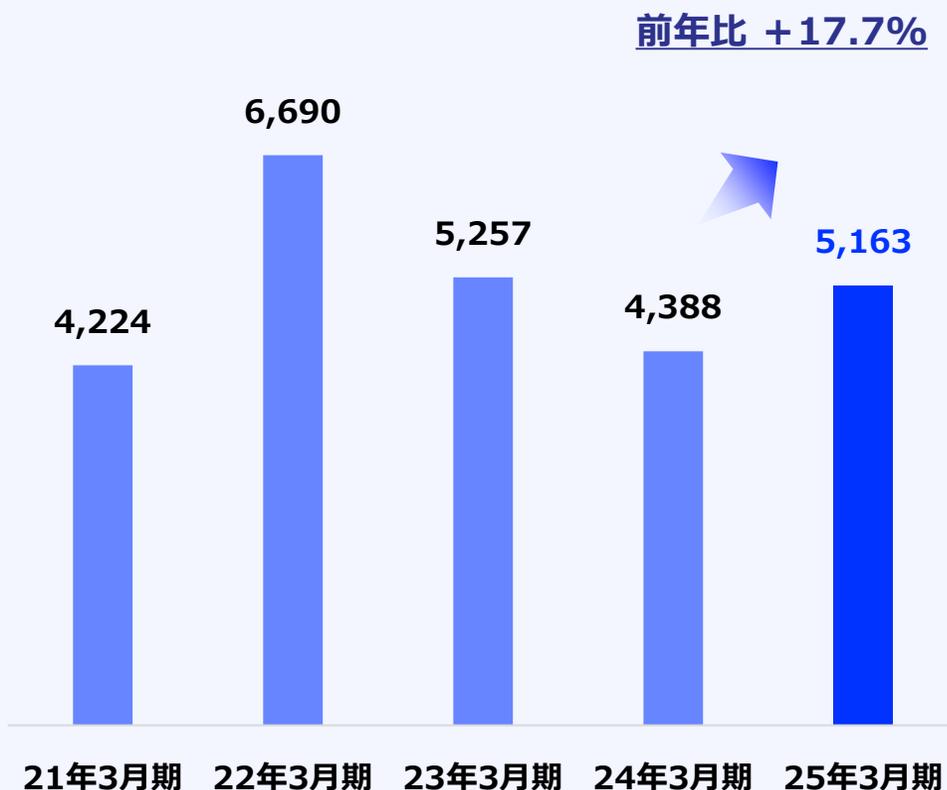
- ✓ 2025年3月期は2024年3月期に受注した超大型案件の進捗が伸びたため、前年比55.0%と大きく増加
- ✓ 光学系においては実績、高い品質、高い技術力が求められるため、当社を含む日本メーカーは競争力を有する
- ✓ ディ스플레이の大型化等を通して市場の拡大が見込まれており、当社も顧客の設備投資に伴う需要を獲得

2026年3月期 見通し

- ✓ ディ스플레이部品関連領域の塗工機械での日本メーカーの競争力は引き続き維持できる想定
- ✓ 足元の動向を踏まえると光学広幅案件などがあり、今後も活況な業界環境が継続する見込み

機能性フィルムは多岐にわたる分野で活用されており、市場は堅調に拡大していく見込み。
付与したい機能性も多岐にわたることから、研究開発の比重が大きい分野。

機能性フィルム部品関連機器売上高
(百万円)



2025年3月期概況

- ✓ MLCCの製造工程で使用するフィルム装置や粘着剤塗工乾燥装置を中心に**売上は増加**
- ✓ 受注もMLCCや半導体向け案件を獲得

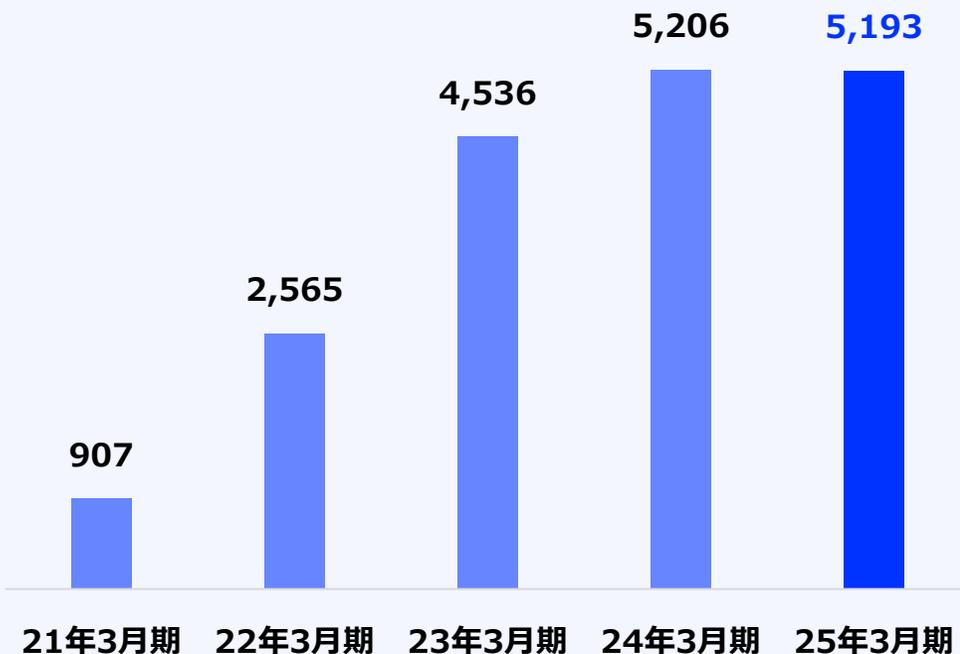
2026年3月期 見通し

- ✓ 機能性フィルムは、**底堅い需要があり、市況も良くなってきた**ため、今後も緩やかではあるが伸びが期待できる

EV市場の需要の鈍化を受け、顧客の発注時期が不透明であり、すぐに回復基調とは言えない状態が続くが、将来的には大きな成長を期待。

エネルギー関連機器売上高 (百万円)

前年比 $\Delta 0.3\%$



2025年3月期概況

- ✓ LIBセパレータ関連設備が売上に貢献し、横ばいで推移
- ✓ Dürr社 (独) を通じて、**初受注を獲得**

2026年3月期 見通し

- ✓ EV市場の需要の鈍化を受け、一定の顧客での設備投資延期や様子見の動きはしばらく続くと考えられる
- ✓ 注視すべき商材として、**全固体電池やペロブスカイト太陽電池**があり、取組みを強化する

人件費増があったものの増収効果と原価低減施策等が奏功し、増益を実現できたことにより、営業利益額のレコードを更新できた。

(百万円)



1

会社概要及び中計概要

2

2025年3月期実績

3

2026年3月期見通し

4

Appendix

売上高、利益とも過去最高を更新した2025年3月期に比べ、2026年3月期は利益率が低下する見通し。中期経営計画達成のため、引き続き製造前倒しを積極的に推進するとともに、設備投資や研究開発を行い受注獲得を目指す。

	25年3月期 実績	26年3月期 中期経営計画	26年3月期 予想
(百万円)			
受注高	14,013	—	—
前年比	△42.3%	—	—
売上高	21,578	22,000	20,000
前年比	+12.1%	+2.0%	
営業利益	3,512	2,600	3,000
営業利益率	16.3%	11.8%	
前年比	+35.7%	△26.0%	
経常利益	3,555	—	3,000
前年比	+35.2%	—	
純利益	2,390	—	2,000
前年比	+32.5%	—	
受注残高	24,284	—	—
前年比	△23.8%	—	—
ROE	12.2%	9%以上	10%以上
1株あたり配当金	86円	75~105円	88円

ディスプレイ

- ✓ 2024年3月期に受注した超大型案件の売上が、2026年3月期にも一部貢献する見込み
- ✓ 需要の波はあるものの、大きな崩れはないものと予想

機能性フィルム

- ✓ 機能性フィルムは底堅い需要があり、今後も緩やかだが伸びが期待される

エネルギー

- ✓ EV市場鈍化に伴い、一定の顧客では設備投資の延期や鈍化傾向はしばらく続く見込み
- ✓ 全固体電池、ペロブスカイト太陽電池の継続的な受注獲得に向け、注力続ける
- ✓ Dürr社と連携し、欧米市場での二次電池の電極用塗工乾燥装置受注獲得に向け営業活動を継続

ROE

- ✓ 引き続き収益性の向上とバランスシートの効率化を通し、株主資本コストを十分に上回るROEの維持を目指す

受注

- ✓ 部品の長納期化は平時の状態に戻りつつあり、顧客の希望納期への対応を目指す
- ✓ テクニカル・シナジーセンターの新実験機を活用し、顧客との共同研究開発を進め、新たな受注獲得を目指す

株主還元

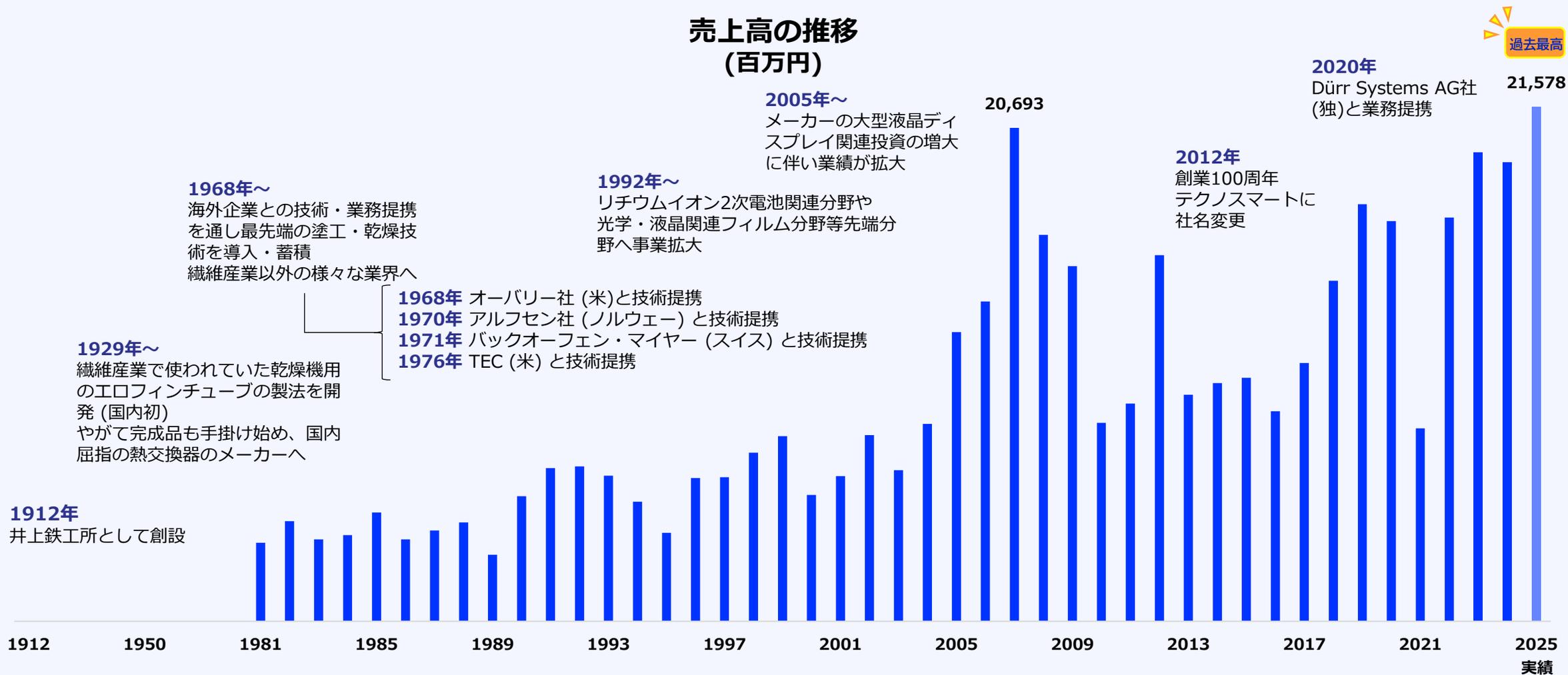
- ✓ 中期経営計画におけるDOE 5%目標をベースに継続的な株主還元を実施

Appendix



1912年に創業。繊維産業向け乾燥機のエロフィンチューブの開発以来、様々な業界の塗工・乾燥のプロセスに関するソリューションを手掛ける

売上高の推移 (百万円)



現在はディスプレイ、機能性フィルム関連、電子部品関連、エネルギー関連で9割超を占める

① ディ스플레이部品関連機器

液晶用表示装置に代表される光学用途フィルム
塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置



顧客製品：
偏光フィルム、ARフィルム 等

関連製品・最終製品：
液晶テレビ、スマートフォン 等

② 機能性フィルム関連塗工機器

一般産業資材用のフィルム用途工装置及び
関連する乾燥・熱処理装置

顧客製品：
離形フィルム等

関連製品・最終製品：
MLCC 等



③ 電子部品関連塗工機器

半導体、FPC等電子部品関連用途工装置
及び関連する乾燥・熱処理装置



顧客製品：
FPC 等

関連製品・最終製品：
スマートフォン 等

④ エネルギー関連

二次電池用途工装置及び関連する乾燥・熱処理装置
また、塗工機以外の二次電池用製造装置及び関連機器

顧客製品：
LIB、太陽電池 等

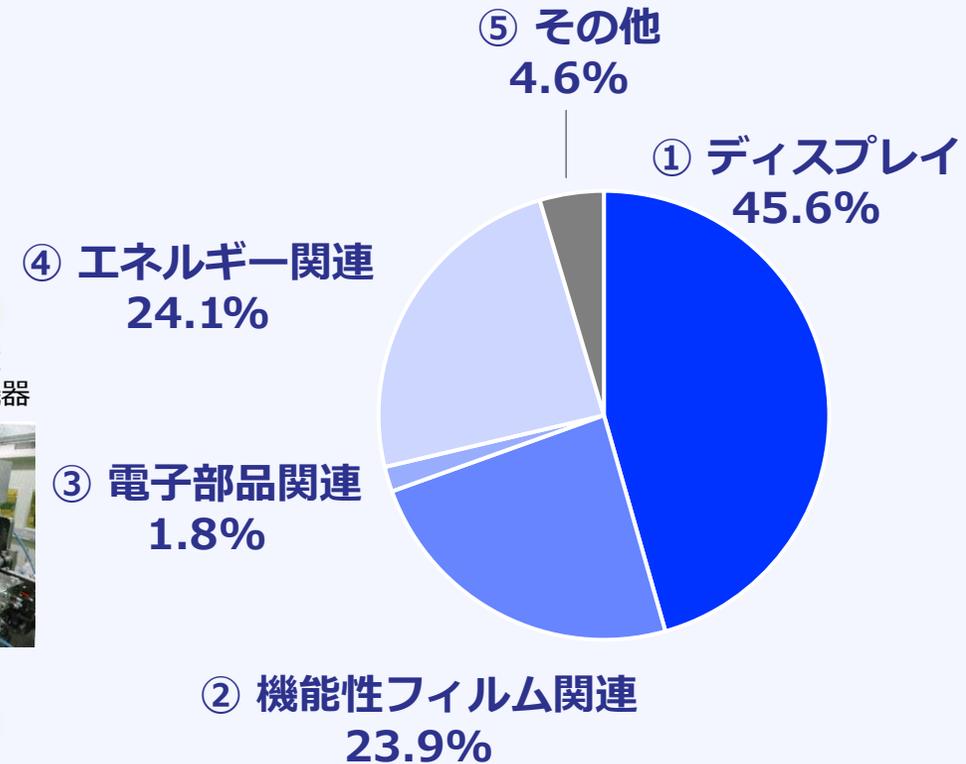
関連製品・最終製品：
スマートフォン、EV 等



⑤ その他

各種関連機器の部品製造・改造・修理

製品セグメント別売上高構成比
(2025年3月期ベース)



テクノスマートの機械で作られる最終製品

Techno Smart

生活に欠かせない様々なものの製造で塗工プロセスが必要とされている



液晶テレビ



スマートフォン



太陽電池



不織布 (おむつ)



レザーシート



エアバッグ



車載用リチウムイオン電池



粘着テープ



フレキシブルプリント基板



医療用経皮吸収パッチ



修正テープ



フローリング風床材

顧客第一の姿勢のもと、お客様の求める要素を全て実現し、技術に支えられた高品質なソリューションと永続的なアフターフォローを通して高い顧客満足を実現

ヒアリング・営業



お客様とのコミュニケーションを通じて課題を発見。新商品開発や提案に繋げる

企画・設計



引き合いをいただいたお客様との打合せに基づいて下調べを行い、図面・仕様書を作成

製造・据付



お客様の工場で実際に製造ラインを据付し、試運転を重ねて求められている水準を実現

アフターフォロー



納品後も永続的なアフターフォローに取り組み、更なる顧客満足度の充実に努める

一般的なリードタイム



1~3か月/回程度の
見積もりを繰り返し
お客様の求める設計に

1年~1年半

永続的なフォロー

損益計算書 (通期)

(百万円)	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期
受注高	7,961	16,067	18,553	18,666	9,179	16,771	26,603	22,017	24,288	14,013
受注残高	3,113	8,343	12,611	13,785	6,180	14,799	24,463	26,803	31,849	24,284
売上高	8,807	10,837	14,285	17,492	16,785	8,089	16,939	19,677	19,242	21,578
売上原価	7,879	9,116	12,215	14,271	12,632	6,663	14,472	16,502	15,603	16,762
売上総利益	927	1,721	2,070	3,220	4,153	1,425	2,466	3,174	3,638	4,816
売上総利益率	10.5%	15.9%	14.5%	18.4%	24.7%	17.6%	14.6%	16.1%	18.9%	22.3%
販売費及び一般管理費	615	713	807	872	1,049	585	823	941	1,050	1,303
営業利益	311	1,008	1,262	2,347	3,103	840	1,642	2,232	2,588	3,512
営業利益率	3.5%	9.3%	8.8%	13.4%	18.5%	10.4%	9.7%	11.3%	13.5%	16.3%
営業外収益	44	45	44	45	46	80	60	56	58	65
営業外費用	12	21	25	12	7	6	11	11	16	22
経常利益	343	1,032	1,281	2,380	3,142	914	1,692	2,277	2,630	3,555
特別利益	9	0	-	-	-	26	0	0	0	0
特別損失	7	5	10	15	165	20	7	2	0	0
税引前当期 (四半期) 純利益	345	1,027	1,271	2,364	2,976	919	1,685	2,275	2,629	3,555
法人税等	135	335	380	738	942	340	521	668	825	1,164
当期純利益	209	692	890	1,626	2,033	579	1,164	1,607	1,804	2,390

損益計算書 (四半期)

(百万円)	23年3月期				24年3月期				25年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
受注高	7,949	2,490	8,383	3,195	1,084	5,932	15,046	2,226	2,675	3,146	2,987	5,205
受注残高	27,031	24,187	27,176	26,803	23,630	24,178	33,553	31,849	31,432	30,137	26,559	24,284
売上高	5,382	5,334	5,395	3,566	4,257	5,384	5,671	3,930	3,092	4,441	6,564	7,481
売上原価	4,640	4,401	4,246	3,215	3,579	3,996	4,536	3,492	2,359	3,140	5,428	5,835
売上総利益	741	935	1,148	350	678	1,387	1,136	437	733	1,300	1,137	1,646
売上総利益率	13.8%	17.5%	21.3%	9.8%	15.9%	25.8%	20.0%	11.1%	23.7%	29.3%	17.3%	22.0%
販売費及び一般管理費	200	214	193	334	233	232	234	351	327	244	304	428
営業利益	541	721	955	15	444	1,154	901	89	405	1,057	832	1,218
営業利益率	10.1%	13.5%	17.7%	0.4%	10.4%	21.4%	15.9%	2.2%	13.1%	23.8%	12.7%	16.3%
経常利益	566	719	973	19	461	1,158	922	89	433	1,056	852	1,214
税引前四半期純利益	566	719	973	17	461	1,158	923	87	433	1,056	852	1,214
四半期純利益	385	492	666	64	312	785	630	77	291	701	568	830

セグメント別 受注高・受注残高・売上高 (四半期) Techno Smart

(百万円)	23年3月期				24年3月期				25年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
受注高	7,949	2,491	8,383	3,194	1,084	5,933	15,045	2,226	2,675	3,146	2,987	5,205
ディスプレイ部品関連	4,058	104	1,755	657	136	2,125	12,212	188	646	1,177	2,346	2,424
機能性フィルム関連	774	1,742	3,055	1,816	449	204	340	842	1,121	1,584	485	159
エネルギー関連	1,616	361	3,366	348	52	2,638	2,326	947	615	86	-117	2,441
その他	1,501	284	207	373	447	966	167	249	293	299	273	181
受注残高	27,031	24,187	27,176	26,803	23,630	24,178	33,553	31,849	31,432	30,137	26,559	24,284
ディスプレイ部品関連	10,430	8,367	7,346	7,029	5,732	5,371	15,740	15,342	15,302	15,549	14,135	12,094
機能性フィルム関連	5,928	6,129	8,586	9,645	9,002	8,513	7,495	7,092	7,158	7,094	6,379	5,278
エネルギー関連	6,336	5,443	7,584	7,126	6,250	7,804	8,449	7,883	7,479	5,997	4,627	5,714
その他	4,337	4,248	3,660	3,003	2,646	2,490	1,869	1,532	1,493	1,497	1,418	1,198
売上高	5,382	5,334	5,395	3,566	4,257	5,384	5,671	3,930	3,092	4,441	6,564	7,481
ディスプレイ部品関連	1,548	2,166	2,776	974	1,433	2,485	1,843	587	686	930	3,760	4,466
機能性フィルム関連	2,362	1,540	598	757	1,093	692	1,358	1,245	1,056	1,648	1,199	1,260
エネルギー関連	1,253	1,253	1,225	805	928	1,084	1,682	1,512	1,019	1,568	1,253	1,353
その他	219	375	796	1,030	803	1,121	787	589	331	295	352	402

貸借対照表 (通期)

(百万円)	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期
総資産	15,830	18,364	19,391	24,435	22,926	22,138	29,316	27,909	29,948	32,618
流動資産	11,707	13,933	14,840	19,863	17,711	16,608	23,204	21,621	23,039	25,217
現金及び預金	5,305	5,606	5,493	6,076	6,188	10,461	10,638	9,583	9,711	6,896
売上債権	5,954	7,862	9,081	13,119	10,952	5,595	11,078	11,381	12,256	17,521
棚卸資産	268	265	234	252	282	185	552	535	842	518
固定資産	4,123	4,430	4,551	4,572	5,214	5,529	6,111	6,287	6,909	7,401
有形固定資産	2,940	3,072	2,977	3,044	3,673	3,925	4,508	4,447	4,592	5,181
総負債	5,666	7,440	6,558	9,461	6,497	5,391	11,910	9,331	10,240	12,987
流動負債	4,214	5,971	5,205	8,178	5,225	4,090	10,563	7,923	8,762	10,096
仕入債務	3,188	4,218	3,526	6,184	3,113	2,325	8,060	5,008	4,357	6,079
前受金	44	639	676	758	744	1,398	1,597	1,729	3,005	1,507
固定負債	1,451	1,468	1,352	1,283	1,272	1,300	1,347	1,407	1,477	2,891
純資産	10,164	10,923	12,832	14,974	16,428	16,747	17,405	18,577	19,707	19,631
株主資本	8,877	9,432	11,230	13,502	15,003	15,151	15,879	16,945	17,647	17,668
評価・換算差額等	1,287	1,491	1,594	1,471	1,424	1,596	1,525	1,631	2,060	1,963
有利子負債	1,016	841	547	194	82	2	-	-	-	2,000
自己資本比率	64.2%	59.5%	66.1%	61.3%	71.7%	75.6%	59.4%	66.6%	65.8%	60.2%
1株あたり純資産	959.3円	1,030.9円	1,118.5円	1,208.0円	1,325.3円	1,351.1円	1,415.6円	1,510.9円	1,599.9円	1,708.4円

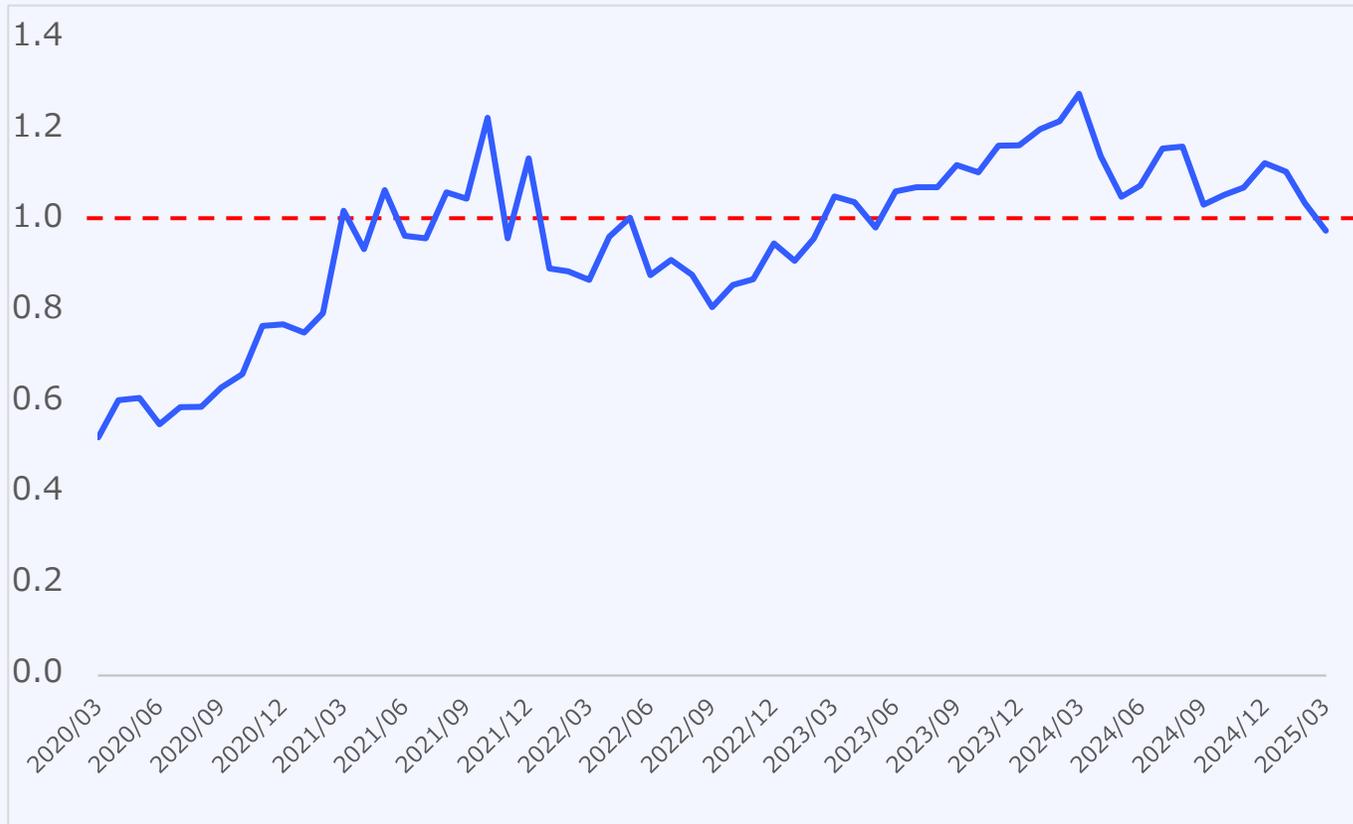
キャッシュ・フロー計算書

(百万円)	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期
営業活動による キャッシュ・フロー	5,161	1,372	△459	1,520	△1,532
投資活動による キャッシュ・フロー	△363	△759	△55	△291	△815
財務活動による キャッシュ・フロー	△525	△439	△541	△1,100	△366
現金及び現金同等物 の増減額	4,272	177	△1,055	128	△2,715
現金及び現金同等物 の期首残高	6,088	10,361	10,538	9,483	9,611
現金及び現金同等物 の期末残高	10,361	10,538	9,483	9,611	6,896
(ご参考) フリー・キャッシュ・フロー	4,797	613	△514	1,229	△2,348

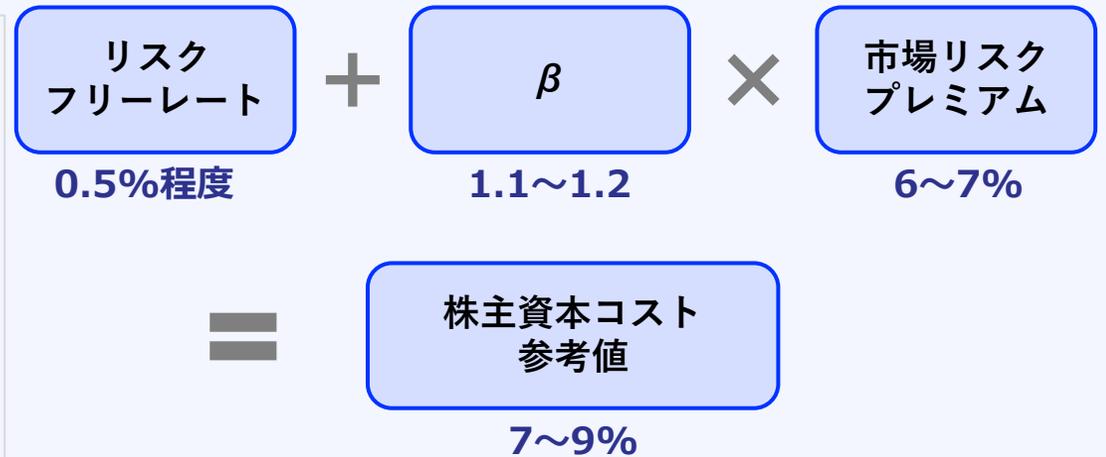
フリー・キャッシュ・フロー・・・営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー

第3次中期経営計画発表後、PBRは1倍を上回る推移
 一定の評価と期待をいただいているものと捉え、引き続き企業価値の向上及び最大化に取り組む

2020年3月来PBR推移（倍）



当社の株主資本コスト(参考値)の前提について



- ✓ 客観的な資本コストの参考値の一つとしてCAPMを使用
- ✓ リスクフリーレートは国内の長期金利を使用
- ✓ β値については当社の2年週次βや同業種β⁽¹⁾を使用

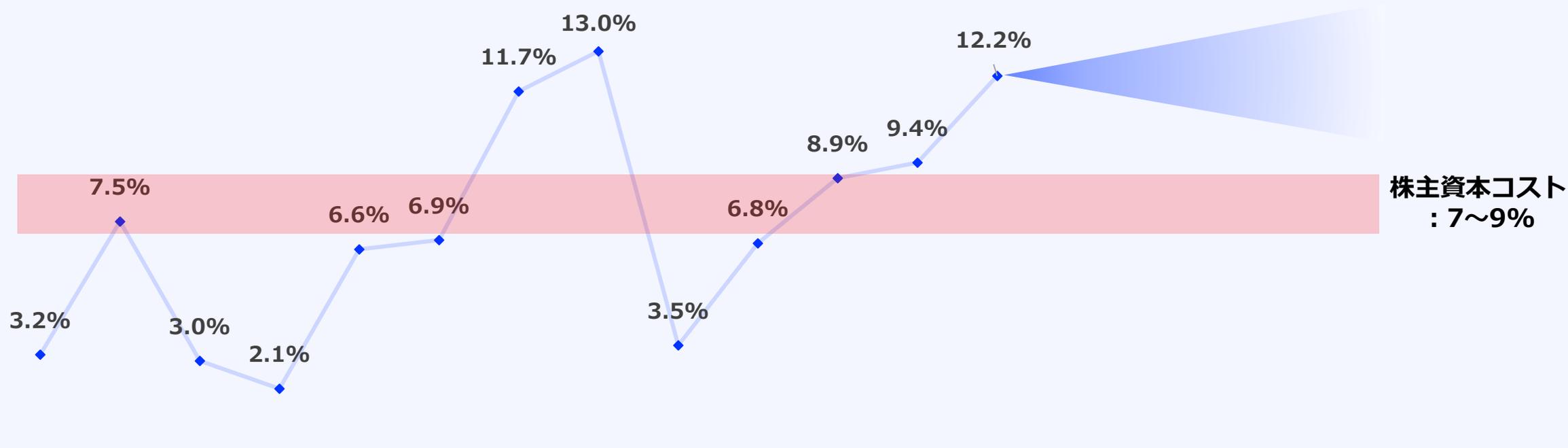
注：月次のPBR = 月の最終営業日の株価終値 / 1株あたり純資産（直前の本決算期末）

注：(1) 日経NEEDS等を基準に算出

ROEは大きく改善。引き続き収益性の向上とバランスシートの効率化を通し、株主資本コストを十分に上回るROEの実現を目指す

持続的に株主資本コストを上回るROE水準を目指す

目標ROEと株主資本コスト



株主資本コスト : 7~9%

13年 3月期	14年 3月期	15年 3月期	16年 3月期	17年 3月期	18年 3月期	19年 3月期	20年 3月期	21年 3月期	22年 3月期	23年 3月期	24年 3月期	25年 3月期	26年 3月期	28年 3月期
													計画	目標

当社の事業領域、特に中期経営計画で志向している領域はESGのそれぞれとも関係が深いと認識
これまで以上に環境負荷や所属社会との連携、ガバナンス・資本効率の強化に向けて取り組む計画

環境 Environment

CO2排出量を筆頭とする 環境負荷の低減への寄与

- ① 次世代エネルギー・次世代自動車の発展への寄与
- ② 新実験棟への太陽光発電の設置、一部社用車の環境配慮型車両への変更等、事業活動におけるCO2排出量の削減
- ③ 環境負荷の低い塗工・乾燥装置の研究・開発

社会 Social

地域社会との共生と 持続可能な発展

- ① 多様な人材の確保
- ② 事業活動を行っている地域における環境負荷に関する報告や、清掃活動、行事への参加等を通じた企業市民活動

ガバナンス Governance

社会の公器として求められる コーポレートガバナンスの実現

- ① 全てのステークホルダーに対して報いるための、資本効率を意識した経営の徹底
- ② 実効性の高い取締役会組成と経営の透明性・効率性の向上
- ③ コンプライアンス・リスク管理の徹底



Techno Smart

Changing Life with Coating Technology

免責事項

将来予測について

本資料で提供されている情報には、将来の見通しに関する情報が含まれています。これら歴史的事実以外の情報は、当社が属する業界の競争、市場、諸制度に係るリスクや不確実性による影響を受ける可能性があります。その結果、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び推測に基づく見込みは、将来における実際の成果及び業績とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

お問い合わせ先等

本資料の内容に関するお問い合わせにつきましては、下記までお願い申し上げます。

管理統括部 経営企画・IR推進部
TEL 06-6253-7200（代表）